

平成26年度動物実験等に関する報告

中央水産研究所

項目	報告内容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 2件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名 マウス
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 3 課題
(4) 実験課題	課題を順次記載 ① 機能性物質と健全性評価手法の開発，評価及び素材化 ② PUFAおよびセレンによるメチル水銀のリスク軽減作用の解明 ③ 水産物の品質情報として利用可能な科学的指標の探索と応用
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	中央水産研究所動物実験委員会規則（平成20年6月18日制定、最終改定 平成27年4月1日）
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	○構成 委員長：水産物応用開発研究センター長 委員：業務推進部、水産物応用開発研究センター、水産遺伝子解析センターより、各1名を選出。 事務局：業務推進部 ○開催実績：平成26年4月30日、9月11日
(3) 動物実験等の実施状況	適正な方法、設備で実施されるか委員会で審査し、承認されている。また、実験結果については、研究所長に報告。

	(4) 教育訓練等の実施	平成26年10月10日に水研センター本部において開催された「動物実験勉強会」を動物実験担当者、研究推進課長、研究推進係長、および魚類等を用いる実験従事者が受講。
	(5) 実験動物の飼養等	水産総合研究センター規定及び中央水産研究所動物実験委員会規則に則り、適正に飼養されている。
	(6) 総合評価	水産総合研究センター規定及び中央水産研究所動物実験委員会規則に適合しており、特段の問題はない。